

測量計算・電子野帳 (TS)

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2025/06

Ver4.9.7 にて追加、修正された機能を説明します。

- ・ 対回の観測手簿に水平距離を追加
- ・ 「丁張設置」GeoCOM 連続測距対応
- ・ 「放射トラバース」逆幅表示を変更

1、対回の観測手簿に水平距離を追加

要望がありましたので、追加しました。

A-SurveyAdB 観測手簿			
93-46-40	85	5	5
93-46-45			
0-00-00			
0-00-00			
93-46-40	90+	10	
93-46-50			
0-00-00			

2 Z	距 離		目標高	
Z				
a	測定値(1)	(2)	較 差	
)	m	m	mm	m
	147.748	.752	4	1.000
	147.753	.753	0	
	平均	147.752	3(セツ間)	
	51.119	.119	0	0.100
	51.120	.120	0	
	平均	51.120	1(セツ間)	

	斜 距 離	水平距離	目標高	<———— 追加しました。
89-37-58)	147.752	147.749	1.000	
91-46-53)	51.120	51.095	0.100	

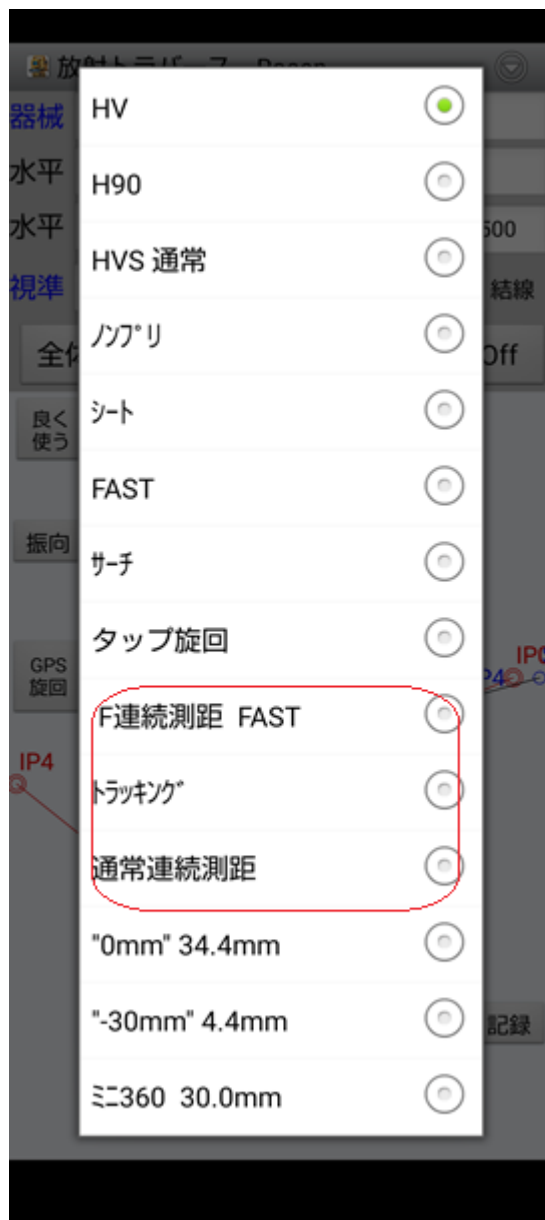
手 簿

観測年月日 19/1
天候 晴れ 風 無
観測者



2、「丁張設置」GeoCOM 連続測距対応

要望がありましたので、追加しました。



連続測距機能(A-SurveyAd_307.pdf)をご覧ください。

「放射トラバース」、「杭打ち」、「野帳観測・入力」で使用できました。

GeoCOM 機にて「丁張設置」で連続測距機能が使用できます。

3、「放射トラバース」逆幅表示を変更

要望がありましたので、対応しました。

A-SurveyAdB 観測条件

○ K

☒ トラバース、座標登録時にメモを記録する

☐ 放射トラバースにて水平距離を表示

放射トラバース、表示

☐ 観測 ☐ X,Y,H ☒ 逆幅

☐ TS外部入力で自動登録する

☒ 距離の較差をチェック 5mm

☒ 点名の入力は2タップにする。

☒ 器械、後視点の選択は長押し

☒ BS観測時、器械点標高を逆算する

☐ ノンブリ・シート FHを0.000にしない

☐ 放射トラ、野帳観測 未登録を確認

☐ 杭打ち 未登録を確認

☐ 丁張設置はRTKを使用する

GPS座標測定、表示

☒ X,Y,H ☐ 逆幅

←—— 逆幅を選択している場合です。

測定すると、路線への逆幅計算を行い、結果を表示します。

放射トラバース Rosen

器械 IP0 後視 IP1

NO 1+6.367 幅 9.070

H 0.816 IH 1.500 FH 0.500

視準 01 HVS.. 結線

全体 測定 B S 登録 ON

良く使う

振向

GPS 旋回

記録

路線外の点を測定すると、逆幅計算でエラーになりますので、登録はできません。

今回は、路線外の点も登録可能としました。

逆幅計算が出来れば、この表示になります。
逆幅計算でエラーの場合は、空白にしていたが
今回・・・

路線外の測定では、逆幅計算はエラーになるので、結果は表示されません。
そこで、路線外の場合は、測定結果を表示するように変更しました。

項目名が、“水平”、“鉛直”、“斜距” に変わり
それぞれの値が表示されます。
この状態で、いつもとおりに「登録」できます。

次に測定し、路線内なら逆幅計算し結果を表示します。
項目名も変わります。

連続測距でも、同様です。

